スカウト兵庫

2018
No.7
10月

特集
“第17回日本スカウトジャンボリー”（石川県珠洲市）
“Hyogo High Adventure Challenge（HHAC）2018”（ロクロシ、氷ノ山）

元気な団紹介
　西宮第3団・第13団、洲本第１団
海外交流
　平成30年度オーストラリア短期留学
　平成30年度“ミートイン台湾”、ローバースカウトの紹介
イベント情報
　薬物乱用防止キャンペーン（6/23 神戸地区）
　全国防災キャラバン（イオンモール猪名川、加西北条）

17NSJ に参加して

新しい参加形態・運営方法・プログラムで取組んだ第 17 回日本スカウトジャンボリーが平成 30 年 8 月 4 日から 10 日石川県珠洲市蛸島町「りふれっしゅ村 鉢ヶ崎」で開催され、兵庫連盟は派遣隊 17 個隊 675 名、奉仕者（派遣団本部員・大会奉仕者・SC 施設管理班）83 名を派遣した。酷暑ながら砂浜に照り付ける暑さは都会の暑さとは異なり夕方には涼しくなり、朝方は少し肌寒いといった天候で、夜は満天の星空を眺めました。神姫バス 17 台で颯爽と到着し会場へ向かい参加受付を行う。早速各隊はサイトで設営。スカウトの明るい声が SC に聞こえる。D.E.F の SC（ｻﾌﾞｷｬﾝﾌﾟ）で 2 つのシャワー・トイレ・水くみ場・汚水処理桝の施設を使用するので、シャワーは特に夜遅くまで長い列が出来た。開会式・ジャンボリー大集会・閉会式など連絡事項もアプリで配信されることになりました。英国・フィリピンのスカウトが D.SC に配属され、言葉に苦労しながらも、一緒に野営生活を、情報の不足で提供食材などで、苦労されました。水分補給は水が一番重宝されたそうです。その分ペットボトルのリサイクル回収はすごい量でした。宗教儀礼は 8/7 に開催され、18 の教宗派に分かれて開催、「平和」と「ちかいとおきて」の実践を通じて信仰心の大切さを伝えました。ジャンボリーゲーム日本一で見事兵庫のスカウトが達成しました。おめでとうございます。日頃の集会の賜物です。ジャボリー大集会は、特別来賓をお迎えしての素晴らしい集会となりました。楽しんだジャンボリーも最終日前夜が閉会式となり、フィナーレは花火の連打とともに次回開催地の発表となりました。今回、班炊事・薪で食事を時間内に出来ない班があり、隊一括コンロ等を使用した給食がされていましたが、スカウト野営の基本は班炊事ですから、日頃の訓練は十分されるようご指導ください。第 18 回日本スカウトジャンボリーでまた会いましょう。

17NSJ 実行委員長　池田純雄

中日新聞　2018年(平成30年)8月6日(月曜日)　【能登】 16

貴重な体験にワクワク

珠洲・ジャンボリー

きょうから本格

珠洲市で開かれている日本スカウト目に開会式を終え、六日から本格的る。国内外から集まったスカウトた山里海が魅力の能登で繰り広げられ膨らませている。（田井勇輝）

夕食で仲間と楽しいひとときを過ごすスカウトたち＝珠洲市蛸島町で

能登

能登名物 おだぐまき

日本一ゲーム「班旗立て」ロープ結び

「日本一」おめでとう。兵庫 10 隊の誉です。
兵庫県だけじゃ器が小さすぎた君たちにふさわしい成果です。
高く立ち上がった班旗。まさかそれが日本一になるとは。競技会場でその様子を間近で見ていた私には夢にも思いませんでした。ごめんなさい。
日本一の高さは、君たちのチームワークも日本一だということ。一つの目標に向けて仲間と協力し、そしてそれを成し遂げる。班旗立てというゲームを通じて君たちが見せてくれたその姿は、「仲間とはこうあるべきだ。」ということを教えてくれました。
そんな君たちと同じ時間、同じ場所そして同じ景色を共有できたこと。君たちに感謝します。ありがとう。そして、次は世界一を目指して欲しいと思うのは、欲張りすぎですか？

兵庫 10 隊　隊長　神戸第 28 団　羽田　英男

日本一ゲーム「班旗立て」ロープ結び

BS 8 人班　シロクマ班・・・・優勝
BS 5 人班　オロチ班　・・・・準優勝

兵庫 2 隊は派遣隊ですので班の構成はバラバラです。
シロクマ班（8 名）は伊丹第 2 団、3 団、10 団、川西第 6 団、宝塚第 1 団（2 名）、2 団、篠山第 1 団のスカウトで構成されています。
オロチ班（7 名）は伊丹第 3 団、10 団、川西第 4 団、6 団、宝塚第 1 団（2 名）、篠山第 1 団のスカウトで構成されていますが、スカウト 2 名が体調不良で救護にいたため 5 名の班で参加しました。
すべてのプログラムに参加させる事を目標においていましたが、配給や時間管理のミスで参加を断念した班があったのは残念でした。また各班とも時間に余裕がなく、集合はいつも時間ギリギリでした。
バラバラ故に協力心が芽生えたのでしょうか・・・
隊発足時に同じ参加するなら日本一を目指せと半分冗談で言っていましたが、本当になってくるとは思いもよりませんでした。
同じ隊から 1 位 1 班。2 位 1 班を出せたのは、兵庫 2 隊のスカウト全員のパワーだと思います。競技では 2 班だけの受賞でしたが、スカウト達にとって一生の思い出となる事でしょう。

兵庫 2 隊　隊長　　伊丹第 10 団　吉田　秀伸

日本一ゲーム「班旗立て」ロープ結び

兵庫２隊シロクマ班は、伊丹２団・３団・１０団、宝塚１団・２団、川西６団、篠山１団のスカウトで結成されました。普段は異なる隊で活動している私たちは、キャンプでの過ごし方や、スカウト技能の得意、不得意など、様々な面で違いがありました。そのことで苦労したこともたくさんありました。けれど、訓練キャンプやジャンボリーで共に過ごすうちに、互いの個性を理解しあい、協力できるようになっていきました。ジャンボリーゲーム日本一では、それぞれの特技を生かして、苦手な部分は補いあい、協力して取り組むことにより、ロープ結びでは１位、火おこしでは４位という結果を残すことができました。原隊は違っても、この結果は私たち全員で勝ち取ったものです。今後私たちはそれぞれの原隊へ戻りますが、これからもスカウト技能をみがきながら、互いの友情を深めていきたいです。

兵庫２隊　シロクマ班

スカウト達は野営地のくるみの里を出て、坂の下登山口～三の丸～氷ノ山山頂を目指します。
支援本部は緊急呼び出しに備えて本部待機の１日です。 連絡があればいつでも行けるようにザックに一式詰めて待機です。

HHAC2018 を終えて

参加スカウトは、７名と少数でしたが、過去２回と比較しても素晴らしいクルーでした。
無事に全行程を踏破し、風の鷲章を授与できたことを嬉しく思います。さらに、原隊の指導者、地区コミッショナー、HHAC の支援スタッフ等たくさんの方々の支援により、今回の HHAC が成功したものと感謝を申し上げます。次回は、もっと多くのスカウトの参加を待っています。

HHAC2018 実行委員長　讃岐　等

国際性豊かなボーイスカウト運動

国際交流

平成 30 年度オーストラリア・スカウト短期交換留学派遣
日時：平成 30 年７月 22 日～平成 30 年８月 26 日

神戸第４３団ベンチャー隊・山口ゆう

平成３０年度オーストラリア短期留学（学習旅行）派遣で、派遣が内定した神戸第４３団ベンチャー隊・山口ゆうさんの任命式が７月７日、神戸市中央区の県民会館７階「ぼたん」であり、日本連盟教育開発部の吉田克己課長と冨田光一国際委員会委員から派遣日程の説明や海外派遣のネッカチーフ贈呈などがあった。冨田委員や鈴木県連盟理事長から激励の言葉が贈られ、森地県連盟コミッショナーの発声で、出席者が「弥栄」を三唱して、派遣決定を祝った。山口さんは７月２２日に出発し、８月２６日の帰国まで西オーストラリアのパースでスカウトの家庭にホームステイしながら、学校へ通う。

2018年(平成30年)8月19日　日曜日

台湾のボーイスカウトと協定

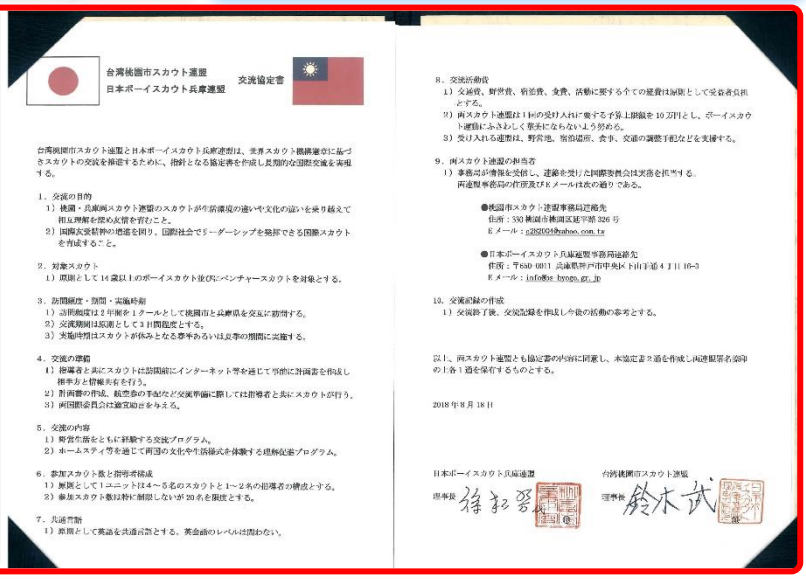
中央区　県内の子どもたち約６千人が所属する「日本ボーイスカウト兵庫連盟」が18日、台湾・桃園市のボーイスカウト連盟と交流協定を結んだ。調印式が同日、中央区の県民会館であり、両連盟の関係者らが互いの活動を紹介するなどして親睦を深めた＝写真。

兵庫連盟は1950年４月に設立された。台湾の連盟と交流協定を結ぶのは今回が初めて。

両連盟は来年以降、子どもや指導者らが相互に訪問し合う。調印式で兵庫連盟の鈴木武理事長(68)は「互いの習慣や考え方を学び、友情を深めることが両連盟の発展にとって重要」とあいさつ。桃園市の連盟の徐松芳副理事長(66)は「協定で双方の青少年の交流がさらに進むと確信している」と話した。（田中宏樹）

神戸新聞（8/19 朝刊）

台湾桃園市スカウト連盟と交流協定を結ばれる



台湾桃園市スカウト連盟
日本ボーイスカウト兵庫連盟　交流協定書

台湾桃園市スカウト連盟と日本ボーイスカウト兵庫連盟は、世界スカウト機構憲章に基づきスカウトの交流を推進するために、指針となる協定書を作成し長期的な国際交流を実現する。

1．交流の目的
1）桃園・兵庫両スカウト連盟のスカウトが生活環境の違いや文化の違いを乗り越えて相互理解を深め友情を育むこと。
2）国際友愛精神の増進を図り、国際社会でリーダーシップを発揮できる国際スカウトを育成すること。

2．対象スカウト
1）原則として 14 歳以上のボーイスカウト団体にベンチャースカウトを対象とする。

3．訪問規模・期間・実施時期
1）訪問規模は２年間を１クールとして桃園市と兵庫県を交互に訪問する。
2）交流期間は原則として３日間程度とする。
3）実施時期はスカウトが休みとなる春季あるいは夏季の期間に実施する。

4．交流の準備
1）指導者と共にスカウトは訪問前にインターネット等を通じて事前に計画書を作成し指導方と情報共有を行う。
2）計画書の作成、航空券の手配など交流準備に際しては指導者と共にスカウトが行う。
3）両国際委員会は協賛助言をする。

5．交流の内容
1）期間中活動をともに経験する交流プログラム。
2）ホームステイ等を通じて両国の文化や生活様式を体験する連絡配慮プログラム。

6．参加スカウト数と指導者構成
1）原則として１ユニットは４～５名のスカウトと１～２名の指導者の構成とする。
2）参加スカウト数は特に制限しないが 20 名を限度とする。

7．共通言語
1）原則として英語を共通言語とする。英会話のレベルは問わない。

8．交流活動費
1）交通費、旅行費、宿泊費、食費、活動に要する全ての経費は原則として受益者負担とする。
2）両スカウト連盟は１回の受け入れに要する予算上限額を 10 万円とし、ボーイスカウト連盟に負担しない費用にならないよう努める。
3）受け入れる連盟は、野営地、宿泊施設、食事、交通の調整手配などを支援する。

9．両スカウト連盟の担当者
1）事務局が情報を受信し、連絡を受けた国際委員会は実務を担当する。
両連盟事務局の住所及び E メールは次の通りである。

●桃園市スカウト連盟事務局連絡先
住所：330 桃園市桃園区延平路 326 号
E メール：g282024@yahoo.com.tw

●日本ボーイスカウト兵庫連盟事務局連絡先
住所：〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通４丁目 16-3
E メール：info@se-hyogo.gr.jp

10．交流記録の作成
1）交流終了後、交流記録を作成し今後の活動の参考とする。

以上、両スカウト連盟とも協定書の内容に同意し、本協定書２通を作成し両連盟署名捺印の上各１通を保有するものとする。

2018 年 8 月 18 日

日本ボーイスカウト兵庫連盟　理事長　鈴木武
台湾桃園市スカウト連盟　理事長　徐松芳

ローバー隊に上進して

私は高校二年生の冬、台湾への派遣に参加させて頂いたことがきっかけとなり、高校三年生で一から中国語を勉強し、現在台湾の大学に進学しています。

というのも、私はボーイ・ベンチャー時代に、ジャンボリーやその他の様々な海外派遣に参加させていただきました。そこで見た光景や、触れ合った価値観、感じた衝撃は全て私の想像以上であり、スカウト活動の中で、実に多くの経験をさせて頂きました。様々な派遣に参加させて頂く度に「スカウティングってすごい！素敵！」と感じ、そしてその感動が、常に私のスカウティング意欲、前へ進もうという動力へ変わってきていたように思います。

また、そこで他との「違い」に遭遇することで、「自分ってなんだろう？」と自分を見つめ直し、少しずつ自分とは何かを知ってゆくことができたようにも思います。そのような経験全てを通して、私は今の自分があると考えているので、スカウト活動、今までお世話になった方々に本当に感謝しています。

私は現在、まだまだ未熟なローバーですが、いずれは「やっぱりスカウティングって素敵！！」と世界中でそう思ってもらえるスカウトを増やせるような指導者になり、スカウト活動、周りの方々に恩返しをしたいです。

神戸第 43 団　ローバー隊　小林　千乃

元気な団　紹介

西宮第3団・第13団

西宮第3・13団は、5つの小学校を2校と3校に分担する形で2個団に分てはいますが、同じ育成会で、夙川スカウトとしてひとつの「想い」で活動を行っています。それぞれ80名ほどのスカウトがいて、両方足せば160名以上のスカウトを擁する活動体です。

夙川スカウトの「想い」とは何か。それは、本来のボーイスカウト活動を行なうことに尽きます。

来年60周年を迎える当団ですが、ジャンボリーや合同野営などの大会が無ければ10泊、大会があっても大会とは別に1週間の夏季野営を続けてきました。春も5泊の野営を行います。しかも、人里離れた森に行き、班サイトを互いに見えないだけ離し、生活に指導者が手出しをしないこと。備品を最小限にし、ある物で工夫して生活させること。

ビーバー集会@神戸市立自然の家

CS夏期舎営@信州LEC

BS夏期野営@信州

これを頑なに守っています。その成果は17NSJでも発揮されました。さらに、これを実現するために、月に3回の隊集会(班・次長はさらに班長訓練と班長会議)と班集会を毎週行なっています。カブの夏の舎営は5泊。ベンチャーは北アルプスに遠征に行きます(今年は槍ヶ岳に登頂しました)。ビーバーは毎月2回の集会があります。

17NSJ 兵庫17隊

VS遠征@北アルプス

集会数が多くて、スカウトはヒマなのかと思われるでしょうが、決してそんなことはありません。私立中学校への受験率が非常に高いのが当地域です。でも、真剣に取り組めるものを提供することで、スカウトも保護者もついてきます。さらに、長期の野営や何回もの集会ができるのは、多くのローバーがいて任せているおかげです。育成会と団は、この活動を支えるため、人・モノ・金にさまざまな工夫・努力をしています。

そうして夙川スカウトは、一定の活動を行い、一定の人数を維持しているのです。

BS野営を支えるローバーたち
夏期野営@信州

洲本第1団

洲本第１団は、団ができて 66 年目を迎える登録数 130 人の団です。洲本市の人口が 42,488 人ですから、人口に占める割合は 0.3%。これは、県全体の 0.07%を大きく上回り、県下市町の中で一番高くなっています。さらに同じ育成会の下、ガールスカウト兵庫県第２団も活動していますので、合わせると、この割合は、さらに高くなります。

洲本第１団では、設立当初から、大浜公園の清掃奉仕を続けており、昨年度その功績が認められ、県から表彰されました。

ビーバー隊　クリスマス

ボーイ隊　ジャンボリー

この洲本第１団には、その礎から築いてきた人物がいました。それが、今年６ 月に亡くなられた山階宏泰大僧正です。山階大僧正は、高野山の伊都第１団で BS 隊副長をしている時、実修所で中村知（ちーやん：多くのスカウトソングを作詞しているのでご存じの方も多いと思います）氏と出会い、大いに感銘を受け、「スカウトの道即仏道」の考えを持つに至りました。昭和 28 年に洲本市の千福寺住職の声がかかりましたが、当時折しも洲本市では「ボーイスカウト設立準備会」ができたところでした。それで、「ボーイスカウトができるなら洲本へ行く」とまで言われ、赴かれ、自宅を団本部として提供されました。山階大僧正から指導を受けることはもうできませんが、「スカウトの師」と仰いだ「ちーやん」の教えを守っていくことが、今は亡き山階大僧正の遺志を活かす道だと思います。

カブ隊　清掃活動会

全国防災キャラバン

開催日・会場

2018年9月2日(日)
イオンモール　猪 名 川（阪神北）

2018年9月9日(日)
イオンモール 加西北条（はりま）

2018 年９月、今年は県下２ヶ所のイオンモールで全国防災キャラバンが開催されました。
９月２日(日)は、イオンモール猪名川（川辺郡猪名川町白金２）にて組織拡充委員会と阪神北地区が中心になって運営、９月９日(日)は、イオンモール加西北条（加西市北条町北条）にて組織拡充委員会とはりま地区が中心になって運営しました。両会場とも多くの来場者で賑わいました。

AEON MALL イオンモール猪名川

イオンモール猪名川で開催されたプログラムはスタンプラリー形式。
①キャンプ場ジオラマ模型の展示（春至山荘より貸与）
②身近にある物を使おう応急手当
③防災用品を使用した記憶力キムスゲーム
④ブロック積み上げゲーム
⑤地区団紹介 PR ブース等々でした。

6/19 大阪北部地震や夏季大雨洪水・台風被害など天災の多い年度にあり、大人もチビッ子も熱心な参加者が多く PR 効果がありました。

17NSJ 開催が終わってからのスタートとなったイベント準備、短期間で濃密スケジュールの中、さすがボーイスカウト！団結と連帯感で大成功につながりました！！

AEON MALL イオンモール加西北条

イオンモール加西北条の周辺では、大雨警報が発表されるような生憎の天候ではありましたが、防災キャラバンは予定通り開催。

プログラムはスタンプラリー形式とし、①応急手当、②ロープ結び、③手旗クイズ、④テントとかまど、⑤応急担架などの展示・体験型プログラムを展開しました。

また会場近隣地域の市役所・町役場などのご協力の下、防災・ハザードマップを収集し、会場内に展示を行い、来場者に土砂災害や河川の氾濫予想区域をご覧戴くことで防災意識を高めて戴きました。

お越し戴いた皆様には、展示や体験を通して、親子で楽しみながら、防災・減災や災害時の対応について見直して戴けたのではないかと思います。

薬物乱用防止キャンペーン

6月23日(土)　神戸・元町商店街

神戸地区薬物乱用防止指導員協議会、兵庫県主催の「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーンが6月23日午後から、神戸市中央区の元町商店街で行われ、ボーイスカウト神戸地区から神戸第55団のスカウト、リーダー12人が、薬物乱用防止指導員やガールスカウトたちに、兵庫県のマスコット「はばタン」も加わり、リーフレットなどを配って、麻薬や覚せい剤を撲滅しようと、呼びかけました。最後は「はばタン」と記念撮影して、奉仕活動を終えました。

編集後記

△スカウト兵庫は、ボーイスカウト活動を知らない人々のための絶好の広報媒体です。この内容を一人でも多くの皆様に届けることができるよう、今後も素晴らしいスカウト兵庫をお届け致します。

神戸垂水地区　斎藤　聖一

△毎号多くの寄せられた記事を楽しく拝見しています。今後も楽しい記事をスカウト兵庫に届けて下さい。

姫路地区　高木　敬三

△本年度は天災に見舞われ、活動も日々の生活も大変でしたね。そのなかで17NSJや夏訓練を経て大きくたくましくなられたと思います。今回号では次へのチャレンジにつながるよう国際交流事業等を紹介しました。

阪神北地区　田中　いづみ

△スカウト兵庫の編集も第七号より三年目に突入しました。第七号では、17NSJやHHACなど夏の大きな大会での活動の様子も紹介することができ、参加できなかったスカウトや保護者の方にもその様子をお伝えすることができたのではないかと思います。

はりま地区　下門　篤弘

【事務局ニュース】

◇ オーストラリア・スカウト連盟から交換留学生の受け入れについて

ボーイスカウト日本連盟では平成5年度より、オーストラリア･スカウト連盟との間で交換留学をスカウトのプログラムとして取り入れ、両国の夏休み期間に留学生を派遣し、受け入れております。
本年夏には、神戸第43団の山口ゆうさんを西オーストラリア州ブルスブリック市へ派遣し、素晴らしい体験をし帰国されたことは記憶に新しいところです。
今年度は25年目となり、オーストラリア連盟から2人のベンチャースカウトを受け入れることとなりました。

滞在期間：平成30年11月26日（月）～
　　平成31年　1月11日（金）　50日間

留学生：カラ・ブチャナン（Kara Buchanan）
　　17歳　女子
　　在学校：カローンダ エリアスクール
　　所属隊：南オーストラリア州支部
　　ムーレイブリッジ隊

　　カリタ・トムリンソン（Kalita Tomlinson）
　　17歳　女子
　　在学校：ブルスブリック カレッジ
　　所属隊：西オーストラリア州支部
　　ブルスブリック・スカウト隊

◇ 兵庫連盟「新年のつどい」開催について

新たな年を迎えるにあたり、県下の指導者の皆様にご参集いただき、スカウト育成の労苦を語り合い、お互いの情報交換や親睦を深めていただくと共に、この運動の支援者であるスカウト振興国会議員連盟の皆様、スカウト振興兵庫県議会議員連盟及び関係行政の方々や育成会長・地区協議会長を始めとする支援者の方々との名刺交換や支援・協力体制等について意見交換を行う場として「新年のつどい」を開催いたします。

日時：平成31年1月6日（日）　10:00～15:00
会場：神戸クリスタルタワー3階クリスタルホール
　　神戸市中央区東川崎町1-1-3
　　（JR神戸駅南側すぐ）
費用：4,000円
　　ゆうちょ銀行　00930-0-259723
　　日本ボーイスカウト兵庫連盟
締切：平成30年12月14日（金）振込分まで

◇ 県連盟事務局 年末年始休業のお知らせ

県連盟事務局は、12月28日（金）から1月3日（木）まで年末年始の休業と致します。
そのため、年末の業務は12月17日（木）15時頃までとし、新年の業務は1月4日（金）からとさせて戴きますので、よろしくお願い致します。

発行元　日本ボーイスカウト兵庫連盟　http://www.bs-hyogo.gr.jp/
〒650－0011　神戸市中央区下山手通4丁目16番3号　兵庫県民会館8階
電話　078－333－1781　発行責任者　組織拡充委員会　委員長　黒田　茂

そなえよつねに ボーイスカウト